

茶道から学んだこと

今週月曜日と火曜日に、茶道教室を行いました。修学旅行の2班ずつに分かれ、1日2時間ずつ茶道の歴史や作法、茶会の進め方、そして茶道で大切なことを学ぶことができました。

1日目は先生から茶道の歴史を学びました。茶道といえば利休が有名ですが、そこに至るまでの多くの人の活躍があったことも知ることができました。その後、茶会に参加する際の様々な動きや作法を教えてくださいました。膝行や膝を繰るといった、普段行わない動きもあり、苦労していた人も多かったようです。その中で最も苦労していたのは正座することでした。動き方や軸の見方など、初日で基本的な動きができるようになりました。

2日目は実際の茶会の動きを学びました。入室から着席まで動き、お菓子をいただき、お茶を飲み、退室するまでを行いました。それぞれが習ったことを生かして茶会に参加することができました。最後は先生から「濃茶」をいただき、味わって茶道教室を終えることができました。

先生からは、お茶の動きや作法だけではなく、お茶を通して大事なことを学びました。それは、「常に周囲にアンテナを張ること」「相手のことを考え、思いやりをもって行動すること」「今どういうふうに関わればよいのかを常に考えて動く訓練であること」などです。これらは、普段の生活や人間関係でとても大切なことです。今回習ったこれらのことを今後の生活に生かしてほしいと思います。

2日間、とても有意義な体験をすることができました。“和敬清寂”と“徳不孤”の精神を常にもち続けたいと思います。

